

出ヶ原和紙体験ワークショップ

「和紙を漉く。和紙に摺る。」

紙漉き＋銅版画

福島県西会津町の地元有志とアーティストにより復活させた、かつての会津藩御用紙「出ヶ原和紙（いづがはらわし）」。
山から自生の楮（コウゾ）を刈り取り、伝統的な製法を守っています。2025年4月に発足した出ヶ原和紙保存会の協
力のもと、和紙づくりの工程を体験できる出張ワークショップを行います。

参加者それぞれに原料作り、紙漉きを体験していただき、その和紙に銅版画を摺ります。「プレス機で刷る凹版は和
紙には刷れない」「油性インクでは難しい」と思われがちですが、やり方さえわかれば手漉き和紙にドーサ引きなしで
も摺ることが可能です。この貴重なワークショップの1日を是非お楽しみください。

4月25日(土)10:00-16:00 (お昼休み 13:00-14:00)

● 参加費：一人 10,000 円 (紙漉き＋銅版画) ※材料費等込み

紙漉き (8000 円)、銅版画 (4000 円) のみの参加も可。

● 会場：ギャラリー・space S (東京都世田谷区等々力 5-14-18)

● 持ち物：以下のものの持参をお勧めします。

*手を拭くためのハンドタオル

*動きやすい履物

*水がはねてもよい服装またはエプロン持参

*お昼ごはん (近隣にコンビニ、スーパー、飲食店あり。14:00 からの銅版画体験に間に合うようご注意ください。)



● 紙漉き講師：出ヶ原和紙保存会、滝澤徹也（西会津在住、美術家、紙漉職人）

10:00-13:00 紙漉き（原料作りから紙漉き）

銅版画用に少し厚めの出ヶ原和紙 A4 サイズ 2 枚作成します。

● 銅版画講師：三好百合子（オランダ在住、版画家、時々和紙制作）

14:00-16:00 銅版画（版制作 1 時間＋和紙印刷 1 時間）

作成した和紙のうち 1 枚を半分、または 4 分の 1 にして銅版画印刷に使用。

針やカッター、やすり等で銅板（約 5x10cm, 0.5mm）に傷をつけて絵を創り、凹んだ部分にインクを詰めて摺ります。

漉いた和紙、印刷した和紙もワークショップ後、すべてお持ち帰りいただけます。

● 定員 8 人 ※要予約

申込先: sumiko-a@a04.itscom.net

もしくは 03-3701-1471 (space S 安藤)

講師の滝澤徹也、三好百合子へ直接申し込みも可能です。
満席になり次第締切ります。

※開催日一週間前（4月18日）を過ぎてからのキャンセルは
キャンセル料を請求させて頂く場合がございます。

紙漉き＋銅版画を通して参加される方には、西会津楮で漉いた
丸い和紙（三好百合子製）の版画 1 枚をプレゼント！



←こちらの QR コードから
メールが起動します



● 同時開催

「漉いて創るー出ヶ原和紙展」

2026 年 4 月 25 日(土) - 5 月 10 日(日) ※金土日のみ開廊（4/25, 26, 5/1, 2, 3, 8, 9, 10 の 8 日間）

13:00～18:00 入場無料

[会場] ギャラリー・space S

出ヶ原和紙と、出ヶ原和紙を用いて制作された作品や製品を展示、販売します。

ギャラリー

space S

〒158-0082

東京都世田谷区等々力 5-14-18

大井町線尾山台駅より徒歩 5 分

東急東横線自由が丘駅より車で 5 分

<http://space-s.com/>

お車でお越しの方は近隣のコイン
パーキングをご利用ください



ギャラリー・space S
世田谷区等々力 5-14-18

駅北側バス通りを東へ進み、
スーパーオオゼキを過ぎて
次の信号の交差点を左折し
次の角右折、次の T 字路左折

